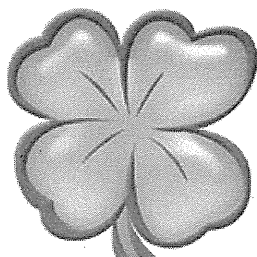


PADM (パダム) 遠位型ミオパチー患者会のブログ

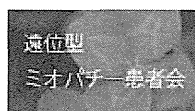
PADM (パダム) 遠位型ミオパチー患者会の活動などを紹介する公式ブログです。

プロフィール



プロフィール | ビグの部屋
なう | グルっぽ

ニックネーム: 遠位型ミオパチー患者
会員
ブログジャンル: 健康・医療/闘病



遠位型ミオパチー: 空胞型・三好型 (LGMD2B含む)・眼咽頭遠位型の患者の皆様、私たちと共に希少疾病における創薬のモデルケースとなり、完治を目指して活動しませんか?

正会員登録数 142人
(2013年3月6日現在)

皆様のご入会をお待ちしています。

(問い合わせ先:
dmio-info@enigata.com)

2012年08月09日

HAL研究班 中島孝先生を囲む会開催のご案内

テーマ: 患者会イベント

9月1日(土)メルパルク京都にてHAL研究班 中島孝先生を囲む会を開催します。

中島先生は、厚生労働省難治性疾患等克服研究事業

「希少性難治性疾患－神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)に関する医師主導治験の実施研究」

でHALを使ったりハビリについて研究されており、その対象疾病の中に遠位型ミオパチーも含まれています。

詳細は未定の部分もありますが、日時等分かっている範囲でお知らせします。

【HAL研究班 中島孝先生を囲む会】

13:00～ 開場
13:30～ 開始
13:45～ 中島先生のご講演
～17:00 交流会

メルパルク京都6階 会議室D

(京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13)

<http://www.mielparque.jp/kyt/kyt01.html>

※第1期定時総会、去年の京都交流会と同じ会場です。

【懇親会】

17:30～19:30 交流会
7階フロアに移動し、ビュッフェスタイルの食事会です。
会費: 2500円程度

参加される方は、8月18日(土)までに

1. 囲む会参加可否(参加者全員の氏名と車椅子台数)
2. 交流会参加可否(参加者全員の氏名と車椅子台数)
3. 質問や要望

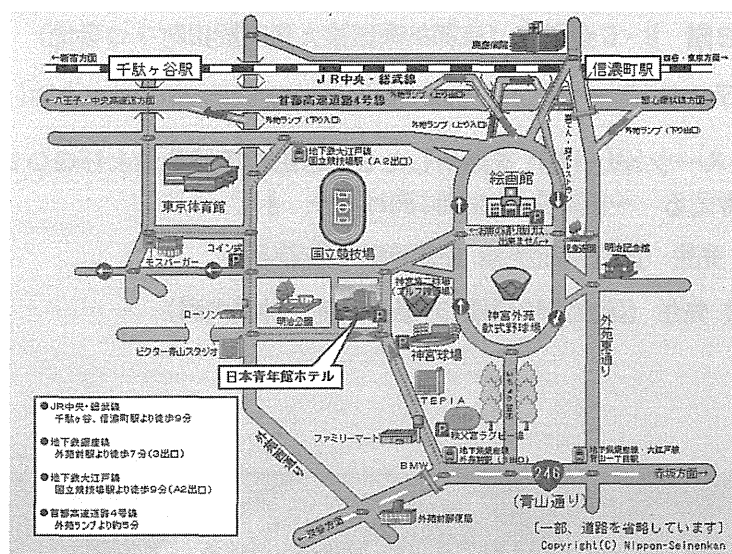
を、dmio-info@enigata.com までお知らせ下さい。

なお、囲む会交流会共にお席に限りがありますので、参加希望多数の場合は、先着順となりますことをご了承ください。

囲む会には、HAL研究班の後援をいただくことができました。

厚生労働省難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）
希少性難治性疾患－神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、
生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット（HAL-HN01）に
関する医師主導治験の実施研究
中島班分担（広報活動チーム）ミーティング

日時：平成24年9月6日（木） 17:00～20:00
場所：日本青年館ホテル 地下1階 MR2会議室
東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号 TEL：03-3401-0101



内 容

17時～20時00分

1. 研究の概要、欧州の状況など
2. 分担者（患者会啓発チーム）の役割
3. 患者説明書・同意書
4. 今後のスケジュール、役割分担等

ロボットスーツ『HAL』に関する講演会 開催のご案内

日 時：2012年(平成24年)9月15日(土) 13:30~16:30

(受付開始は13:00)

会 場：京都テルサ 東館3階 B・C会議室(京都市南区東九条下殿田町70番地)

京都テルサHP → <http://www.kyoto-terrsa.or.jp/index.html>

プログラム：演題 『ロボットスーツHAL-HN01を活用したSMA患者の機能およびQOL
向上を考える ~医師主導治験に向けて~』

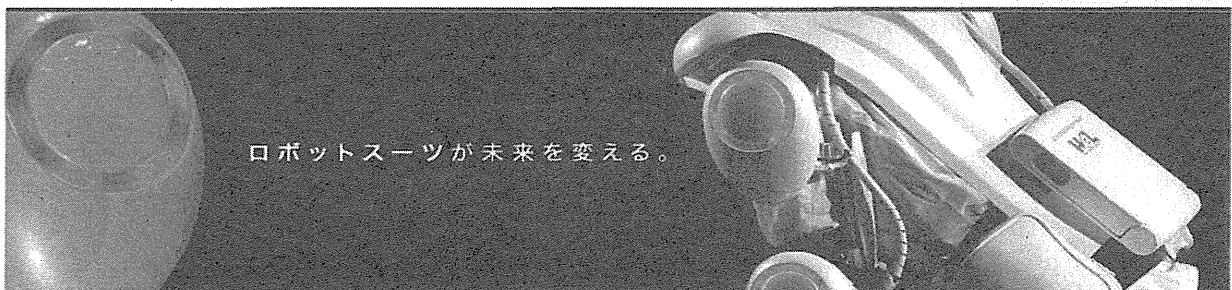
講師 中島 孝先生(国立病院機構 新潟病院 副院長)

斉藤 利雄先生(国立病院機構 刀根山病院 神経内科)

質疑応答など

参加費：1家族500円

サイバーダイン社HP (<http://www.cyberdyne.jp/index.html>) より



== 参加のお申し込みは ==

タイトルに【HAL講演会参加】(氏名)とつけ、
参加人数(大人〇人、子ども〇人、車椅子・ストレッチャーの有無)を明記の上、
SMA家族の会事務局 (smajimkyoku@gmail.com) までメール

または

〒561-0882 大阪府豊中市南桜塚1-1-8 豊中桜塚郵便局留

「SMA家族の会事務局」佐野朋子宛に郵便でお知らせください。

※なお準備の都合上、お申し込みはできれば9月5日(水)頃までにお問い合わせください。



主催 SMA(脊髄性筋萎縮症)家族の会

後援 厚生労働省難治性疾患等克服研究事業「希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)に関する医師主導治験の実施研究」班 (研究代表者 中島 孝)

厚生労働省難治性疾患等克服研究事業「患者および患者支援団体等による研究支援体制の構築に関わる研究」班 (研究代表者 橋本 操)

協賛 NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会

第6回日本緩和医療薬学会年会

患者主導型臨床研究(Patient Reported Outcome: PRO)と臨床試験におけるこれからの緩和的なかわり

10月7日(日) 9:00~12:00

神戸国際会議場5階 504-505会議室

- 【タスクフォース】 井手口直子 帝京平成大学 薬学部
高瀬 久光 福岡大学病院 薬剤部
片山 志郎 日本医科大学病院 薬剤部
平井みどり 神戸大学病院 薬剤部
- 【シンポジスト】 中島 孝 医師主導治験の実施研究班班長 新潟病院副院長
山海 嘉之 筑波大学教授 株式会社サイバーダイン代表取締役
川口有美子 患者および患者支援団体等による研究支援体制の構築に関わる研究班 ケアサポートモモ代表
岡部 宏生 日本ALS協会副会長
今井 啓二 NPO法人 ICT救助隊
仁科恵美子 NPO法人 ICT救助隊

【共催】 希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)に関する医師主導治験の実施研究班/
患者および患者支援団体等による研究支援体制の構築に関わる研究班

【参加申し込み】 先着60名
申込受付を終了しました。
当日空席がある場合、または立見でのご参加が可能となる場合がございますので、直接会場でお問い合わせください。

【開催主旨】

医薬や医療機器の開発、治験、販売は、過去に企業が中心となって実施されてきましたがより患者の問題点や必要性を適切に反映するために、患者が主導する臨床研究班(研究 代表者橋本操)が新たに開始され、患者と家族のナラティブから必要な医薬や医療機器を要望したり、その有効性を評価するPRO(患者の報告するアウトカム)の研究が始まりました。このワークショップではこの具体的な例として難病患者に使う装着型ロボットの医師主導治験や難病のALS患者に対する新たな機器開発、そして多専門職種によるサポートの内容を紹介し、医師、機器開発者、患者、患者を支える人々と会場の皆様とで患者主体の緩和ケアについて御一緒に考えていきたいと思っております。

厚生労働省難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）希少性難治性疾患－神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット（HAL-HN01）に関する医師主導治験の実施研究ワークグループ会議、開催通知



関係各位様へ

以下開催いたしますのでご参集ください。

日時：平成24年10月21日（日） 13:00～17:00
 場所：東京八重洲ホール 6階 VIP会議室
 東京都中央区日本橋3-4-13 新第一ビル TEL：03-3201-3631
<http://yaesuhall.co.jp/>

参加者：山海嘉之先生（研究分担者、筑波大学教授、CYBERDYNE 株式会社）
 林知広様（研究分担者、CYBERDYNE 株式会社）
 新宮正弘様（研究分担者、CYBERDYNE 株式会社）
 鈴木庸平様（研究協力者、CYBERDYNE 株式会社）
 中島孝先生（研究代表者、国立病院機構新潟病院 副院長）
 猪爪陽子先生（研究協力者、国立病院機構新潟病院 理学療法士長）
 鈴木美穂子（研究協力者、国立病院機構新潟病院 治験コーディネーター）

研究班事務局：国立病院機構新潟病院 臨床研究部 阿部・植村・鈴木
 TEL/FAX：0257-22-2130（直通） mail:kenkyuuhan@niigata-nh.go.jp

受付 12時50分開始
 13時開始

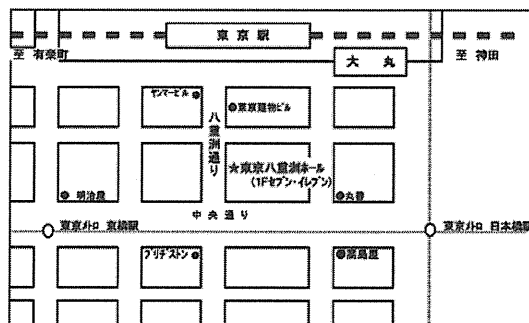
プログラム

1. 進捗状況の説明
2. 治験届に向けた確認作業
3. 医療機器 GCP についての確認
4. その他

17時終了予定

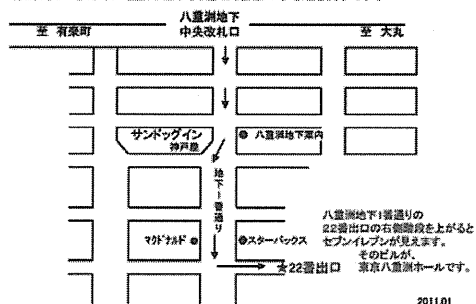
東京八重洲ホール案内図

【所在地】 東京都中央区日本橋3丁目4番13番
 TEL 03-3201-3631
 【J R】 東京駅八重洲中央口より徒歩約3分
 【東京外口】 総武線日本橋駅・京橋駅より徒歩約3分
 京浜線日本橋駅より徒歩約7分



東京駅寄り「東京建物八重洲ビル」があります。名称が類似しておりますので、お間違えない様ご注意ください。

東京駅からは、八重洲地下街をご利用になると便利です。



2011.01



第22回日本医療薬学会年会

The 22nd Annual Meeting of Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences

HOME

プログラム

年会長のご挨拶

開催概要

演題募集

参加登録

プログラム

参加者へのご案内

発表者・座長へのご案内

ランチョンセミナー
事前参加登録

ワークショップ申込

会場案内

宿泊案内

託児室

リンク

募集要項

ワークショップ

ワークショップ1

日時：平成24年10月27日（土） 13:20-16:20

会場：J会場（ホテル日航新潟30階 鳳凰）

オーガナイザー：

有田 悦子（北里大学薬学部）

「多職種ケアチームで共有する実践的QOL評価法のワークショップ
—患者理解のための薬剤師のツールにむけて—」

講師：

中島 孝（国立病院機構新潟病院、神経内科専門医）

タスクフォース：

有田 悦子（北里大学薬学部）

井手口直子（帝京平成大学薬学部）

後藤 恵子（東京理科大学薬学部）

南雲 陽子（新潟薬科大学）

共催：日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会



ポスター（PDF）

市民公開講座

「希少性・難治性筋疾患に対する ロボットスーツの実用化」

12:00 開場

12:55 開会 国立病院機構 香川小児病院院長 挨拶

座長 桐野 友子 国立病院機構 香川小児病院 神経内科医長

13:00 1. 「四国における難治性筋疾患の現状について」

多田羅 勝義 先生 (徳島文理大学 保健福祉学部 看護学科 教授
元国立病院機構 徳島病院 副院長)

13:40 休憩

座長 中川 義信 国立病院機構 香川小児病院院長

14:00 2. 「ロボットスーツHALの最新動向と医療への応用」

山海 嘉之 先生
(筑波大学大学院 教授/CYBERDYNE株式会社 CEO)

14:40 休憩

座長 中川 義信 国立病院機構 香川小児病院院長

15:00 3. 「希少性・難治性疾患—神経筋難病疾患に対する
HALの治験について」

中島 孝 先生 (国立病院機構 新潟病院 副院長)

15:40 休憩・質疑応答

16:00 終了

*HAL[®] 福祉用の当日のデモおよび展示があります

参加無料

日時 平成24年11月25日(日) 13時～
会場 丸亀市保健福祉センター
(ひまわりセンター)

〒763-0034

丸亀市大手町2丁目1番7号 Tel 0877-22-5700

主催

厚生労働省難治性疾患等克服研究事業
希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器
生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)に関する
医師主導治験の実施研究班
国立病院機構 香川小児病院

後援

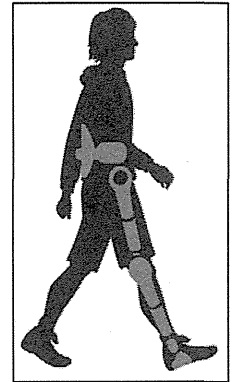
国立病院理学療法士協議会
中国・四国部会
仲多度郡・善通寺市医師会
丸亀市医師会

*事前登録にご協力ください

登録方法: 香川小児病院HP (<http://www.kagawasy-hosp.jp/>) 上の参加事前登録票に
ご記入の上、ファックスまたはメールでお申し込みください。
(事前登録なしの当日参加も可能です)

お問い合わせ先: 独立行政法人 国立病院機構 香川小児病院
〒765-8501 香川県善通寺市善通寺町2603番地
Tel 0877(62)0885・Fax 0877(62)5384
E-mail miyatake@kagawasyo.hosp.go.jp

治験実施説明会お知らせ



日時:平成 24 年 12 月 2 日 (日) 10:00~14:30 (9:30 より受付開始)

場所:東京 東京国際フォーラムホール D5 <http://www.t-i-forum.co.jp/>

対象者:研究分担者、研究協力者、治験実施施設希望または関連する担当医師、CRC、分担者 (リハビリスタッフなど)、CRO、関連会社、その他事前登録された方

問合先:国立病院機構新潟病院 臨床研究部 (担当:牧野・植村・阿部)

TEL/FAX:0257-22-2130 (直通)

kenkyuhan@niigata-nh.go.jp (研究班事務局)

主催:平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業 (難治性疾患克服研究事業)

「希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット (HAL-HN01) に関する医師主導治験の実施研究」
(中島班)

お願い:既に各研究分担者等の施設長の皆様には秘密保持契約書に署名いただいておりますが、今回治験実施説明会参加者様には個別に秘密保持契約書に署名をお願い致します。予めご了承ください。

.....プログラム.....

予定変更の可能性があります。ご了承ください。

- | | |
|-------------|---|
| 10:00~10:05 | ご挨拶 |
| 10:05~10:10 | 国内治験実施体制紹介 治験調整医師 中島孝 |
| 10:10~10:25 | 背景-1「神経筋疾患の治療・リハビリテーション」
国立精神・神経医療センターリハビリテーション科医長 小林庸子 |
| 10:25~10:40 | 背景-2「ロボットと機能回復訓練」
埼玉医科大学国際医療センター医学部リハビリテーション科教授 前島伸一郎 |
| 10:40~10:55 | GCP の遵守 ICH-GCP を遵守した医師主導治験
滋賀医科大学医学部糖尿病・腎臓・神経内科助教 澤口信 |
| 10:55~11:10 | 治験概要-1 治験目的 治験調整医師 中島孝 |
| 11:10~11:30 | 治験概要-2 治験プロトコール
国立病院機構新潟病院神経内科 遠藤寿子 |
| 11:30~11:45 | 治験組み入れシステム等 (統計の仮説を含む) メビックス株式会社 |
| 11:45~12:15 | ランチョンセミナー 「HAL オーバービュー (仮題)」
筑波大学システム情報系・サイバニクス研究コア教授 山海嘉之 |
| 12:15~12:30 | 休憩...Coffee & Tea Break |
| 12:30~12:45 | 評価法 1 (2 分間歩行テスト、10m 歩行テスト、MMT, Barthel index, PRO, 医療従事者による歩行評価) 国立病院機構新潟病院リハビリテーション科理学療法士長 猪爪陽子 |
| 12:45~13:00 | 評価法 2 (操作者評価、ビデオ撮影) |
| 13:00~13:15 | 治験機器概要 1 CYBERDYNE 株式会社 |
| 13:15~13:30 | 治験機器の管理、使用など CYBERDYNE 株式会社 |

- 13:30～13:50 治験モニタリングと AE 報告 RCR 株式会社
 13:50～14:05 監査について-何が監査されるのか メビックス株式会社
 14:05～14:20 各実施施設における準備の概要 治験調整医師 中島孝
 14:20～14:30 質疑応答など

.....

「患者および患者支援団体等による研究支援体制の構築に関わる研究(橋本班)・希少性難治性疾患-神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット (HAL-HN01) に関する医師主導治験の実施研究 (中島班)

合同研究報告会

第一部 15:00～18:00 平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業 (難治性疾患克服研究事業) 患者および患者支援団体等による研究支援体制の構築に関わる研究班研究報告会

ご挨拶 厚生労働省健康局疾病対策課 山本尚子氏

ご挨拶 橋本操

患者登録サイトワーキングチームから経過報告 川口有美子

サイト登録のデモンストレーション 山本晃

PRO (Patient Reported Outcome) をもちいた医療の国際的動向 水島洋

自分の体験や情報を提供・公開する意味 TIL ベンチレーターネットワーク

患者及び患者支援団体等に期待すること、特に治験との関係で 青木正志

意見交換

(詳細は別紙参照)

患者団体との連携のために、是非多数のご参加をお願いします。

問合せ 特定非営利活動法人 ALS/MMD サポートセンターさくら会

TEL 03-3383-1337 FAX 03-3380-2310

第二部 18:00～19:15 神経筋難病に対する生体電位駆動型ロボットの臨床応用について (橋本班・中島班合同研究発表会)

18:00～18:20 オーバービュー及び HAL-HN01 治験の進捗の説明 中島孝

18:20～19:00 HAL の医療応用に向けた世界の動き、新たな発表 (デモ)

筑波大学システム情報系・サイバニクス研究コア教授 山海嘉之

19:00～19:10 テクノロジーと人間、医療・生活・自由に向けて (HAL 物語・小説の公募)

NPO 法人/ALS/MND サポートセンターさくら会理事 川口有美子

19:10～19:15 終了のご挨拶 中島孝、川口有美子

終了時間が遅くなりますので研究旅費として後泊が可能です

懇親会 19:15～20:30 ロビーにてスナックで情報交換会 (会費 1000 円)

患者登録サイト

<http://www.sakura-kai.net/>



厚生労働科学研究
難治性疾患等克服研究事業

中島班・橋本班

合同研究報告会

日時:12月2日(日)
午後2時45分開場
午後3時より開始

東京国際フォーラムホール D5

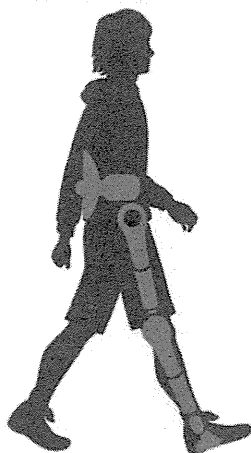
東京都千代田区丸の内3丁目5-1
JR有楽町駅徒歩1分
代表電話:03-5221-9000

体験談を
研究に
役立てよう!

難病患者会と研究者が有楽町に結集!

HALの治験と
患者登録サイトが
本日キックオフ!!

For Intractable Rare Diseases



HAL Multicenter Clinical Trial

あなたのこと、
教えてください。

患者の体験を研究に活用
難病患者会と研究者の
コラボレーション!
HALを用いた
画期的意思伝達方法を
初公開!

特定非営利活動法人
ALS/MNDサポートセンターさくら会

〒164-0011 東京都中野区中央3-39-3
Tel:03-3383-1337 Fax:03-3380-2310

厚生労働科学研究 難治性疾患等克服研究事業

「患者および患者支援団体等による研究支援体制の構築に関わる研究班」

【協力団体】平成24年度

- SMA (脊髄性筋萎縮症) 家族の会 ● CMT (シャルコー・マリー・トゥース病) 友の会
- PADM (遠位型ミオパチー) 患者会 MS (多発性硬化症) キャビン ● FOP (進行性骨化性線維異形成症) 明石
- ほっとChain (フォン・ヒッペル・リンドウ病 VHL) ● 日本 ALS (筋萎縮性側索硬化症) 協会近畿ブロック

平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）
「希少性難治性疾患－神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位
等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット (HAL-HN01) に関する医師主導治験の実施研究」
(中島班)

治験実施における実務者ワークグループ会議

日 時:平成 25 年 1 月 18 日 (金) 15:00~18:30

場 所:国立病院機構新潟病院 4F 会議室

参加者: 山海嘉之教授 (分担研究者、筑波大学教授、CYBERDYNE 株式会社)
林知広様 (分担研究者、CYBERDYNE 株式会社)
新宮正弘様 (分担研究者、CYBERDYNE 株式会社)
鈴木庸平様 (CYBERDYNE 株式会社)
四分一健介様 (CYBERDYNE 株式会社)
永野克人様 (CYBERDYNE 株式会社)
本多歩美様 (CYBERDYNE 株式会社)
仲田智様 (CYBERDYNE 株式会社)
西田誠様 (CYBERDYNE 株式会社)
中島孝先生 (研究代表者、国立病院機構新潟病院)
遠藤寿子先生 (研究協力者、国立病院機構新潟病院)
猪爪陽子 (研究協力者、国立病院機構新潟病院 理学療法士長)
高橋修 (研究協力者、国立病院機構新潟病院 理学療法士)
長谷川和彦 (研究協力者、国立病院機構新潟病院 理学療法士)
岸本和幸 (研究協力者、国立病院機構新潟病院 理学療法士)
大掛かおり (国立病院機構新潟病院 理学療法助手)
牧野玉緒 (国立病院機構新潟病院事務助手)

.....プログラム.....

15:00-15:15 治験上の補助に関する統制

15:15-18:30 1. GCP を順守することについて

2. 治験実施マニュアルの作成

1 事前の準備

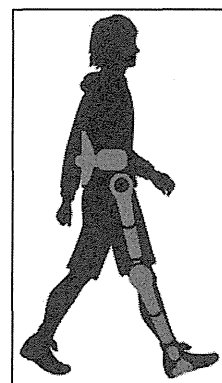
2 治験の決定調整

3 初回の HAL 装着

4 ビデオ作成、評価、HAL の操作

3. 治験実施施設サポートのあり方

4. その他



患者主体のQOL評価法「SEIQoL-DW」を学び、活かす実習セミナー
(The Schedule for the evaluating of the individual Quality of Life-direct weighting: SEIQoL-DW)

患者の主観的評価に基づく医療 QOL 評価の新しい実践

医療の目的は患者のQOL(Quality of Life:生活の質)の向上です。QOLの測定法は数々ありますが、客観的な視点で一元化する方法を、緩和ケアや難病ケア領域など治癒を目標とできない領域に適用すると、時として「死」よりも低い評価値がでて、ケアの視点を失うだけでなく、医療の配分の視点で切り捨てられる危険をはらんでいます。患者の主観的QOL評価法としての「SEIQoL」は、アイルランドで開発されましたが、代表的な患者の報告するアウトカム(PRO: Patient reported outcome)とされ、臨床研究に多く使われています。人は状況の変化に応じて生活の中で大切に考える事柄やその優先順位を変化させ、評価を変えています。それをとらえることで、真の緩和ケアの実践を可能にします。(参考文献:中島孝、医療におけるQOLと緩和についての誤解を解くために、医薬ジャーナル、47:1167-1174, 2011)この「SEIQoL」を理解し、体験するセミナーを開催します。今回の会は、医療、介護のスタッフのみならず、患者さん・ご家族の参加も有意義になるものと思います。

日 時 平成25年2月10日(日) 14:30~17:30

場 所 東京国際フォーラム ガラス棟会議室G-402

ホガナイザー 井手口直子(帝京平成大学薬学部)

中山優季(東京都医学総合研究所難病ケア看護研究室)

講 師 中島孝(国立病院機構新潟病院)

コメンテーター サトウタツヤ(立命館大学文学部人文学科)

織田友理子(PADM遠位型ミオパチー患者会)

中田郷子(MSキャビン)

対 象 難病ケア、緩和ケアに関心がある医療職・介護職・患者・家族・関係者・ボランティア

定 員 先着60名

参加費 無料

現代における喪失のケアと緩和ケア、難病ケア

- QOLとは何か: ケアを改善するためにQOLの誤解を解き、どのように理解するとよいか?
 - 実践演習: SEIQoLにおける面接の基本とSEIQoLにおけるCueの抽出の説明
 - ロールプレイ法によるSEIQoLのCue抽出(ステップ1)
 - ロールプレイ法によるCueのレベルの決定(ステップ2)
 - SEIQoLにおけるCueのWeightの推定(ステップ3)
- SEIQoLのデータ入力と解析・評価 総合討論

プログラム

◆ お申し込み・お問い合わせ ◆

井手口直子まで、

n.ideguchi@thu.ac.jp (帝京平成大学井手口研究室)

共催: H24年度厚生労働省難治性疾患等克服研究事業「患者および患者支援団体等による研究支援体制の構築に関わる研究」橋本操班、「希少性難治性疾患-神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)に関する医師主導治験の実施研究」中島班

希少性神経筋疾患に対する下肢装着型
補助ロボット (HAL-HN01) に関する治験
—短期効果としての歩行改善効果に対する医師主導治験—

“医療用HAL” 治験説明会

司会 齋藤 加代子 (遺伝子医療センター)

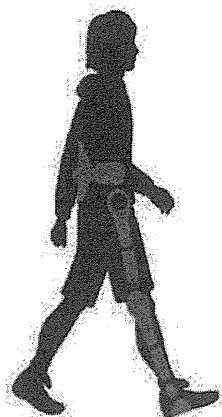
HAL-HN01神経筋疾患下肢モデル臨床試験について
(仮題)

独立行政法人 国立病院機構 新潟病院

副院長 中島 孝 先生

日時 2月12日 (火) 16:30~

会場 膠原病リウマチ痛風センター
2階 会議室



厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等克服研究事業 (難治性疾患克服研究事業)
希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で
随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット (HAL-HN01) に関する医師主導治験の実施研究
研究代表者 中島 孝先生 (独立行政法人国立病院機構新潟病院 副院長)

連絡先

遺伝子医療センター (内線 34236)

平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）

希少性神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型ロボット（HAL-HN01）に関する医師主導治験—短期効果としての歩行改善効果に対する無作為化比較対象クロスオーバー試験（NCY-3001）試験

スタートアップミーティング

日 時:平成 25 年 3 月 4 日（月）15:00～

場 所:945-8585 新潟県柏崎市赤坂町 3 番 52 号

独立行政法人国立病院機構新潟病院 5F 臨床検討会室 1

電話番号:0257-22-2126

対象者: CYBERDYNE 株式会社、滋賀医科大学澤口信先生、メビックス株式会社、RCR 株式会社、中島孝治験調整医師、国立病院機構新潟病院脳神経内科医師・検査科・放射線科・リハビリ科・CRC・事務局

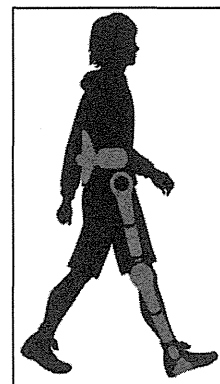
内 容:治験実施開始にむけてのミーティング

15:00-15:10 御挨拶 中島先生より

15:10-16:00 治験について RCR 株式会社より

16:00-16:10 質疑応答

16:10-16:30 休憩



HAL-HN01 安全使用講習会

日 時:平成 25 年 3 月 4 日（月）16:30～

場 所:独立行政法人国立病院機構新潟病院 4F リハビリ科理学療法室

対象者: CYBERDYNE 株式会社、滋賀医科大学澤口信先生、メビックス株式会社、RCR 株式会社、中島孝治験調整医師、国立病院機構新潟病院脳神経内科医師遠藤寿子先生・リハビリ科猪爪陽子理学療法士長、PT、PT 助手

16:30- 安全使用講習会 CYBERDYNE 株式会社より

主 催:「希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット（HAL-HN01）に関する医師主導治験の実施研究」（中島班）



内閣府 最先端研究開発支援プログラム

サイバニクス国際フォーラム2013 International Forum on Cybernics 2013

ロボットの未来
— 活力ある「健康長寿」社会へ —



主催者 山海 嘉之 筑波大学 最先端サイバニクス研究拠点 研究統括
サイバニクス研究センターセンター長・教授

2013.03.23 Sat
9:30 - 18:00
東京国際フォーラム ホール B5

未来開拓最前線

お申込は
ウェブから
定額にてお申し込み

www.first.ccr.tsukuba.ac.jp/ifc2013/

お問い合わせ ☑ ifc2013@ccr.tsukuba.ac.jp

(休:土・日・祝)



詳しくはこちらを検索!

ifc2013 CCR

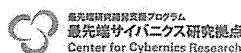
検索

概要

内閣府 最先端研究開発支援プログラム 最先端サイバニクス研究拠点 (Center for Cybernics Research/CCR) では、研究交流を推進する機会として山海嘉之研究統括を中心に、関連分野の著名な研究者、有識者及び広く海外から講演者を招聘し、国際フォーラムを開催します。超高齢社会へ向け、国内外で注目を集める最先端人支援技術の内容・研究進捗および課題解決に関し、専門家・研究者・医療関係者・企業等へ情報発信・共有します。更に研究内容等の公開・技術交流により、本プロジェクトの研究課題達成の実効性や効率性の向上を図ります。

ミッション

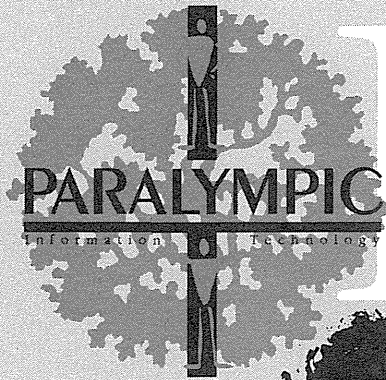
当該最先端人支援技術研究では、脳神経系から身体系に至る生理生体系支援技術/身体機能を補助・増幅・拡張する動作支援技術の研究開発を推進し、身近に最先端人支援技術がある未来の実現を目指します。身体機能に障がいのある方や高齢者が自立して安心・安全に生活できる「活力ある健康長寿社会」へ向けた未来開拓に挑戦しています。



主催：国立大学法人筑波大学 最先端サイバニクス研究拠点 後援：内閣府 文部科学省 厚生労働省 経済産業省 協力：CYBERDYNE株式会社 大和ハウス工業株式会社

本フォーラムは、内閣府「最先端研究開発支援プログラム」で提供された「健康長寿社会を支える最先端人支援技術研究プログラム」の公開活動の一環として開催されます。

ROBOT SUIT, 「ロボットスーツ」, ROBOT SUIT HALL, 「ロボットスーツホール」, PHALL, Hybrid Assistive Limbは、登録商標です。「ROBOT SUIT」, 「ROBOT SUIT HALL」, 「Hybrid Assistive Limb」, and 「HAL」 are registered trademarks protected by Japanese and Foreign Trademark Laws
Copyright © 2010-2013 Center for Cybernics Research & University of Tsukuba All rights reserved.



ICT パラリンピック 2013

[日時] 2013.3/24(日)

開場/10:00 参加費/無料

[場所] 一橋大学一橋講堂

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2
http://www.hit-u.ac.jp/guide/other/pdf/guide.pdf

あの「HAL」
がやってくる!

11:00
13:00

Switch!

HAL

スイッチHALの紹介とデモ

ゲスト：山海嘉之教授 & 中島 孝博士



山海 嘉之

Yoshitaka Senkai
サイバーダイナ代表
筑波大学教授



中島 孝

Takashi Nakajima
新潟病院副院長



総合司会
町 亜聖

Asei Machi
フリーアナウンサー

12:00
13:00

ランチオントーク
厚労省橋本操班より



14:00
16:00

i-Padで遊ぶ
「太鼓の達人」大会

日ごろ1ボタンでパソコンなどを
操作している人たちが挑戦します!!

16:00
17:00

懇親会 (無料)

10:00
16:00

展示コーナー

福祉機器メーカー、販売店による体験可能。

- 伝の心 ● オペナビTT ● HeartyLadder
- マイトビー ● スプリング ● レッツチャット
- トーキングエイド for iPad など

透明文字盤コーナー

体験とアドバイス!

相談コーナー

機器やスイッチに関して、ご相談受付。

お気軽に
ご相談
ください!

●主催/NPO法人ICT救助隊/一橋大学 ●協賛/NEC CSR推進本部社会貢献室

●後援/平成24年度 厚生労働科学研究費補助金(難治疾患等克服研究事業)

「希少性 難治性疾患-神経-筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、
生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HNO1)」に関する医師主導治験の実施研究(研究代表者:中島孝)
「患者および患者支援団体等による研究支援体制の構築に関わる研究」(研究代表者:橋本操)



お問い合わせは NPO法人 ICT救助隊 〒142-0063 東京都品川区荏原5-5-3

〔神保町駅〕AB出口から徒歩3分 〔竹橋駅〕1b出口から徒歩4分



FAX 03-3727-0478

E-mail info@rescue-ict.com

厚生労働科学研究費補助金

難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）

希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット（HAL-HN01）に関する医師主導治験の実施研究
総括・分担研究報告書

平成 25 年 3 月

研究代表者 中島孝 独立行政法人国立病院機構新潟病院

TEL 0257(22)2126 (代)

FAX 0257(22)2830

E-mail nakajima@niigata-nh.go.jp

〒945-8585 新潟県柏崎市赤坂町 3 番 52 号

印刷 三条印刷株式会社 〒955-0072 新潟県三条市元町 9 番 3 号
